

恵の聖母の家 園内報

ルルドの丘

2021
6月
No.49



社会福祉法人 聖母の騎士会

恵の聖母の家 医療型障害児入所施設・療養介護
児童発達支援センターめぐみ
相談支援事業所こころ



▼写真は園庭にこいのぼりをあげた様子です。元気に泳ぐこいのぼりと一緒に、新型コロナウイルスも飛んで行け！

はじめまして（お久しぶりです）本年四月、恵の聖母の家施設長に就任致しました中島コトと申します。実は私が恵の聖母の家で勤めさせていただくのは二度目です。最初は三十年余り前、昭和五十八年十月当園開設時、小児科医として着任致しました。当時はまだ重症心身障がい児施設は少なく、当時の大分医科大の小川教授のご指導を仰ぎながら、同僚の平岡信子先生と共に、利用者の方々の診療療育にたずさわってきました。入所して来られる方はまだ幼い方も多く、健康状態が安定せず体調を崩される方々の診療、治療を担当してきました。成長期には運動機能発達訓練・教育・生活指導などそれぞれの専門スタッフと協力して取り組み、同時に季節や戸外を楽しむ行事・活動として、お花見やドライブ、運動会、海水浴などが行われ、私も同行して共に楽しい時間を過ごした思い出が今でも鮮やかによみがえってきます。

その後、両親の世話を必要となつたため、平成六年恵の聖母の家を辞し故郷長崎に戻り、長崎県にある重症心身障がい児施設みさかえの園あゆみの

家に二十年余り勤めました。その間、両親を見送り、三人の子供たちもそれぞれ独立し、仕事も一区切りついたところで一昨年春退職しました。退職後は、日田市、長崎県、静岡県にいる孫たちに日々会いに行ったり、小旅行をしたりしてゆっくり暮らそうと思っていました。ところが仕事をやめて一年も経たないうちにまさかのコロナ。結局旅行もできず、夫・娘家族の住む日本市で自粛生活をしていた昨年秋、シスターから突然、恵の聖母の家に来てくれないかとのお電話を受けました。もう仕事する気はなかつたので、お断りして、社交辞令として、どなたか適任者がいないか探してみますと答えました。しかし、長崎の医師仲間や知り合いには大分に行けるような人はみつからず、いろいろ考えているうちに、昔のことが次々と思い出されてきました。重症の方を救急車で大分医科大に送ったこと、すぐに体調を崩す方にハラハラしたり、戸外活動でお花見や海水浴に行って楽しかったことなど、当時の入所者の方々のことが次々と思い出され、当時から入所されてる方や、

職員の方々にとっても明るく楽しい場

家に二十年余り勤めました。その間、両親を見送り、三人の子供たちもそれぞれ独立し、仕事も一区切りついたところで一昨年春退職しました。退職後は、日田市、長崎県、静岡県にいる孫たちに日々会いに行ったり、小旅行をしたりしてゆっくり暮らそうと思っていました。ところが仕事をやめて一年も経たないうちにまさかのコロナ。結局旅行もできず、夫・娘家族の住む日本市で自粛生活をしていた昨年秋、シスターから突然、恵の聖母の家に来てくれないかとのお電話を受けました。もう仕事する気はなかつたので、お断りして、社交辞令として、どなたか適任者がいないか探してみますと答えました。しかし、長崎の医師仲間や知り合いには大分に行けるような人はみつからず、いろいろ考えているうちに、昔のことが次々と思い出されてきました。重症の方を救急車で大分医科大に送ったこと、すぐに体調を崩す方にハラハラしたり、戸外活動でお花見や海水浴に行って楽しかったことなど、当時の入所者の方々のことが次々と思い出され、当時から入所されてる方や、

職員の方々にとっても明るく楽しい場



巻頭言

施設長 中島 コト



ある必要があります。
微力ですが更に明るく楽しい恵の聖母の家を目指して頑張りたいと思いま

す。よろしくお願い申し上げます。

勤務を受けたものの、約束の日が近付くにつれ自分に任せられた仕事がきんとできるか不安になってしましました。

受け入れて下さりホッとしました。以前から入所されていた方、職員さんの名前がすぐ出てこない場面もありましたが記憶をたどり、思い出が次々と甦り、懐かしい思いでいっぱいになりました。心配していた医療面では曾根先生、長倉先生両常勤の先生はじめ非常勤の先生方でしっかりと充実されて安心しました。とすると、私の役割は？そこで、改めて恵の聖母の家の基本理念、基本方針、設立の目的を読み、恵の聖母の家が心身に重い障害をもつ人々にとって明るく楽しい生活の場になるようとの願いで設立されたことを再確認しました。

そして入所・通所利用者の方々が幸せに暮らしていくためには、かかる

▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします。▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします。



きらりん★

【コロナ禍で工夫した、クリスマスの集い・お正月行事の紹介】

12月12日クリスマスの集いは感染防止のため、各棟に分かれソーシャルディスタンスを保ち、大型スクリーンで、聖劇（絵本の読み聞かせ）と生活福祉課保育士によるクリスマスソングの合唱をしました。

スクリーンに絵本を映しだし、室内を暗くしてペンライトで照らし、クリスマスの雰囲気を演出しながら、保育士が話し始めると、皆さん静かにきいていました。保育士の合奏は、事前にお御堂でビデオ撮影を行った映像をスクリーンでみてもらいました。トーンチャイムによる「きよしこの夜」「ジングルベル」の2曲です。静かな曲とぎやかな曲に変化を感じてもらい、また衣装や照明を工夫した映像にしました。当日は、ビデオをみながら、入所利用者さんも楽器の鈴やタンバリンを持ち一緒に合奏すると、利用者さんたちからは笑顔や声を出して楽しむ姿がみられました。

12月25日のクリスマスミサも、お御堂でのミサの模様をリモートで繋いでみもらいました。信者の入所利用者さんは、病棟ホールで神父様とお祈りをしたり、お話をききました。御ミサが始まると、各棟の利用者さんたちも静かにミサの様子や神父様のお話をきいていました。



恵の聖母の家全体が神聖な時間に包まれ、皆さんで新型コロナウイルス感染症の収束をお祈りしました。新しいスタイルでのクリスマス行事でしたが、入所利用者さんからは「楽しかった。お御堂を見られてよかった。」と、感想をいただきました。また、各棟で行うことで利用者さんは、慣れた場所で安心して楽しい時間を過ごせたと思います。コロナ禍で、できないことを悔やむのではなく、できることを考え支援者一丸となって入所利用者さんと共に、楽しくクリスマスのお祝いができたことに感謝しています。

2021年1月1日お正月行事は、各棟に分かれて開催しました。ホールには入所利用者さんが筆で力強く「丑」と書いた書を飾り、グループ活動で制作した「丑のちぎり絵」も飾られて華やかに新年を迎えることができました。

牧山副施設長より「新しい生活スタイルに希望をもっていきましょう」とご挨拶をいただき、皆さんの無病息災を願い、各棟でお屠蘇のふるまいがありました。

新年の縁起物獅子舞は三密を避けるため、ビデオ撮影した獅子舞を大型スクリーンで鑑賞しました。

生活福祉課の男性介護福祉士による、獅子舞のポールキャッチや2頭の獅子の姿に声を出して笑ったり、少し怖がり目を背ける様子など、利用者さんそれぞれの反応がみられました。午後は、各棟で書初めをしたり、福笑い・カルタ・すごろくなどお正月遊びやかくし芸大会をした棟もあり、新年を元気に楽しく過ごすことができました。2021年も皆さまの健康とご多幸をお祈りいたします。

療育部生活福祉課 保育士 松本 智子

※表紙写真は、2021年4月外出活動「吉四六ランド」と施設内ヨゼフ広場でのお花見散歩の写真です。（* * *）



厚生労働省では、「電離放射線障害防止規則」と「電離放射線防止規則第三条第三項並びに第八条第五項及び第九条第二項の規定に基づく厚生労働大臣が定める限度及び方法を定める件」を改正し令和三年四月一日から施行・適用します。

今回の改正と具体的内容

- 放射線業務従事者の眼の水晶体に受けける等価線量の限度の引き下げ（電離則第五条） 放射線業務従事者の眼の水晶体に受けける等価線量が五年間に月一〇〇ミリシーベルトおよび五年間につき五〇ミリシーベルトおよび一年間につき五〇ミリシーベルトを超えない事。

- 線量の測定および算定方法の一部変更（電離則第八条・告示三條） 管理区域内で受ける外部被ばくによる線量の測定は一センチ線量当量・三ミリ線量等量および七〇マイクロ線量等量のうち、実行線量および等価線量別に応じて線量を算定するため適切と認められるものについて行う事。
- 線量の測定結果の算定・記録・保存期間の追加（電離則第九条） 放射線業務従事者の眼の水晶体に受けける等価線量は、三か月ごと、一年ごとおよび五年ごとの合計を算定・記録・保存する事。



▼各部署の声です。今年度の目標は「きずな」です。

看護課

名字の由来について

看護師 国家 豊臣

国家の名字は全国でおおよそ六十人いるそうです。都道府県別にみると大分県が一番多いと言われています。名字には、それぞれの由来があります。例えば木村さんであれば木のある村の意の地名姓です。全国的に平均してみられます。木村さんなどよく聞く名字には定型の由来があります。一方でなかなか聞き慣れない名字はその由来が気になつたりするかと思います。私の名字もその一つだと思います。今まで入学や就職の面接試験の際、試験官から名前について度々聞かれてきました。恵の聖母の家でもシスターから名字について触れられたこと覚えています。それだけ国家の名字はインパクトがあることは十分な程、肌で感じてきました。

皆さんも自分の名字の由来は何なのか、幼い頃家族に聞いたことがあるかもしれません。私が國家の名前について度々聞かれてきました。それは「大友家の時代、大友家の一人を火事から助け出して、そのお礼に神社へ行き確認したところ、正親町天皇の元龜三年（千五百七十二年）二月十一日、大友家内紛の巻き添えの戦火に遭い、社殿をこごく焼失する。やつと

このことで難を逃れ、運び出された御神体は神社の上席神主の國家大勝宅傍らの〇〇字角屋敷内、栗の木の元に急遽造営された仮御社に奉安されて祀られた。と書かれていました。確かに家族から聞いた由来と重なる場面がありますが、その文面には、すでに国家と名前が残されています。つまり由来は大友家を助けたからではなくたのです。結局、名字の由来の答えは分かりませんでした。

名字の由来については一度心に閉まつておこうとしています。理由は私の子供達が、大きくなり自分の名字に関心を持つ時が来ると思います。その頃に今度は、子供達と一緒に答え探しができたらいいなと思っています。

私が大学一年生の頃、恵の聖母の家に実習に来て、翌年に就職し、五年目を迎えるとしています。実習に来ていなければみなさんと一緒に仕事ができないなと思うと、実習に来てよかったですと感じます。就職したばかりは、右も左もわからない私に、先輩方は優しく教えてくださいました。今では職場にも慣れ、利用者と楽しく毎日過ごしています。

昨年からの新型コロナウイルスの影響で、外出ができないなり友達と遊びに行くことも減り、これといった趣味もないのですが、父にもお弁当を作るようになりました。仕事から帰ってきて、「今日も美味しい、毎日作るようになります。最初は、自分のお弁当だけ作っていましたが、最近当たりしてるので、年齢的にも今ぐら

が結婚や妊娠する人が多くなる頃かなと思いますが、残念ながら、御縁はなく結婚にはほど遠いようです。

そして、いつも一緒に買い物に行き、周りからも「仲がいいね」と言われるほど仲の良かった弟が転勤し、父と二人暮らしになりました。弟がいなくなれば寂しいと思いましたが、転勤して一ヶ月が経つとだいぶ慣れました。買い物に行けなくな

り、ちょっと寂しいですが、新型コロナウイルスがおさまったら遊びに行こうと思っています。

最近、外出も減り歩くことが減ってきたためか、太ってきているようを感じます。洋服も、前は短パンやスキニーなど履いていましたが、体型カバーできるようなものばかり着てているなと感じます。

二〇二一年の目標は、元の体型に戻すことで、利用者さんにより良い生活ができるように保育士として何かできることはないか考え、実践して成果を出していきたいと思います。皆さん、ご指導よろしくお願いいたします。

私は、リース作りにハマっています。百円ショップの店頭にクリスマスグッズが並ぶとリースの土台と飾りをついつい買ってしまいます。

9月は、毎年「家族の日」行事を開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症のため、中止となりました。

家族の日実行委員会が行事に代わる活動を計画し、各お部屋で楽しめるレクリエーションを、9月16日（水）に行いました。

前半は、全館放送を通して、「〇×クイズ大会」を行いました。問題は10問用意され、施設内のマリア様像の身長や利用者さんが育てた植物・好きなキャラクターや愛読書の問題など、さまざまでした。中には、旧約聖書から「神様は、7日目に人間を作られた。〇か×か？」など、難しい問題もありました。利用者さんは、自分のことやお友達のこと、横で支援者が悩んでいる姿を見ながら、楽しそうに差し出された「〇」「×」の札を、目や手足を使い表現しながら選び、回答の発表に支援者と一緒に喜んでいたり、楽しんでいました。



後半は、面会に来られない家族や後見人に「メッセージカード作り」をしました。支援者とカードにイラスト入りのマスキングテープや星やハート、花などで装飾し、感謝の思いを支援者とメッセージを記し、真ん中には日常の写真や制作の様子の写真を貼り、家族や後見人の方へ送りました。



毎年家族と一緒に楽しむ行事が、今年はできませんでしたが、入所利用者さんの様子が少しでも伝わり繋がりを感じてほしいと思います。この他にも、ホールには絵画クラブの利用者さんが描いたTシャツの展示やネイチャークラブの育てた花を花束にした「スワッグ作品」の展示販売会も行われました。



当日のお昼は、栄養課が「家族の日お楽しみ弁当」を用意してくれました。



10月28日「おおいた障がい者アート展vol.2あやなすひかり」「第25回ときめき作品展」が大分県立美術館OPAMで開催されました。

当施設から、アートクラブの作品7点を出展しました。



11月14日～12月6日まで、臼杵市交流プラザで「まちかどアート展」がありました。こちらにも、アートクラブの作品を展示して、多くの方に作品をご覧いただきました



12月13日、のぞみの丘の利用者さんが還暦を迎えるました。母親から送られたお祝いの赤いちゃんちゃんこを着て、お化粧もしました。全身鏡で自分の姿を見ると少しビックリした表情をしていましたが、支援者からたくさんメッセージをもらい満面の笑顔をみせてくれました。コロナ禍で面会もできなかったので、母親に電話をしました。

母親の声を聞くと涙をみせ、安心した様子でした。病棟で楽しい還暦のお祝いができました。



職員とのお別れ会

外来部門の職員が4月から新しい場所へ旅立つため、入所利用者さんとのお別れに来てくれました。恵の聖母の家では、新型コロナウイルス感染症予防のため、外来部門と入所部門の職員に分かれて業務をしており、園庭からソーシャルディスタンスを保ちながら入所利用者の方とのお別れをしました。利用者の方も職員の名前を呼んだり、手を振るなどして別れを惜しんでいました。



施設内ドライブクラブ

ひかりの大地とのぞみの丘では、月1回施設内の駐車場やアルードの丘・施設入口のマリア像の前などを車で周回するドライブ活動を行っています。各棟のドライブや車が好きな利用者さん3～4名がメンバーで、4月と5月は桜や藤の花をゆっくりみながら、季節の変化を感じました。また、車に乗ると、それぞれ、いろんな表情や反応を見せてくれます。

コロナ禍で気軽に外出することも難しいですが、利用者さんが少しでも楽しみになる活動をしたいと思います。



佐藤圭右先生とのお別れ会

3月30日 恵の聖母の家で12年間施設長としてご尽力いただいた佐藤圭右先生が退職されました。入所利用者さんも職員と一緒に感謝を込めて、お見送りをしました。佐藤先生からも利用者さんへお礼の声をかけていただきました。佐藤先生より、「皆さんこれまでのご尽力に感謝し、これからのご活躍をお祈りしたいと思います。ありがとうございました」とお言葉をいただきました。



ヨゼフ広場（正門前）へお花見

3月下旬、桜が満開に咲いた時期にあゆみの広場・のぞみの丘の利用者さんが活動時間を利用し、外気浴とお散歩をしました。久しぶりに外気や太陽の日差しに目を細め眩しそうな表情や桜の花や歓声をあげる支援者の声をきいて大きく口を開けて喜ぶ方もいて、短時間ですがお花見や散歩のお出かけを楽しんでいました。



外出活動が再開されました。

4月14日・21日は、野津町内の吉四六ランドヘドライブと公園内の散策に行きました。外出は、人混みを避けるために隣の公園ですが、利用者さんにとっては、久しぶりのドライブや外出です。春の季節を感じながら外出活動を楽しんでいただきました。



ひかりの大地：芋ほり・焼き芋パーティー

10月7日 ひかりの大地利用者さんが園庭で、芋ほり体験をしました。5月に植えた芋の紅はるかの実りを、支援者が確認しながら掘り起こし、芋のつるに紐をつけ利用者さんが引き上げて、芋の重さや感触を楽しめるように工夫していました。



利用者さんの中には、大きな芋を探したり、たくさん芋がついているものを選んだり、思い切って引き上げると1個だけしかついていなかった芋を見て、支援者と大笑いしたり、引き上げた芋を1つひとつ手際よく、根からほぐす方もいて楽しそうでした。

芋ほりでは、大小合わせて100個を超える芋が収穫できました。その内の80個程の芋を11月10日師長と生活福祉課課長が洗って、新聞紙とアルミホイルで巻いて、焼き芋の準備をしてくれました。



11月11日 営繕の職員が用意した焼き芋場で焼き芋をしました。天気もよく、ひかりの大地の利用者さんも園庭に出て、蜜のあふれる出来たての焼き芋をみたり、触れたり、焼き芋を支援者に割ってもらいう香りをかいだり、待ちきれずに試食をして喜ぶ入所利用さんたちもいました。



午後は、おやつに焼き芋をスウィートポテトや茶巾絞りにして食べました。また、レクリエーションで、秋をイメージしたbingoゲームや塗り絵をして、入所利用者さんの笑顔あふれる楽しいパーティーになりました。





▼各部署の声です。今年度の目標は「きずな」です。

①すぐ側にある海の生簀から魚を上げ加工場に運ぶ②頭を落とす③三枚おろしにする④皮を剥ぐ⑤洗う⑥袋詰め・真空パックする⑦それぞれの業者に箱詰め梱包するこの流れに沿って、各々の持ち場につき流れ作業で進めていきます。私の仕事は番目。目の前に山積みになつた魚をひたす



が、私たちが当たり前にできている動作とは異なり、一人ひとり食べる機能や特徴が違います。専門学校で習った知識では到底足りず、評価の前段階の知識からのやり直しでした。しかし、先輩と一緒に評価をさせていただき、勉強することができます。



①すぐ側にある海の生簀から魚を上げ加工場に運ぶ②頭を落とす③三枚おろしにする④皮を剥ぐ⑤洗う⑥袋詰め・真空パックする⑦それぞれの業者に箱詰め梱包するこの流れに沿つて、各々の持ち場につき流れ作業で進めていきます。私の仕事は番目。目の前に山積みになつた魚をひたす

年末のお魚屋さん

介護福祉士 五十川奈々子

実家の家業は魚屋さん。地元のおばちゃんたち数人に手伝つてもらひながら小さな加工場で魚を捌いています。

年末の忙しさは半端なく、クリスマスを過ぎた頃から加工場はフル回転。家族や知り合い、同業者の助つ人にアルバイトの高校生などを巻き込み、総勢三十名でも、てんてこ舞いです。県外に散らばつた三人の息子たちにも集合がかかり、もちろん私もセンターが仕事納めになると、上から作業帽・マスク・白衣・エプロン・手袋、そして長靴という誰だか分からぬ格好で魚屋のお手伝いをします。ここで、少し作業工程を紹介します。

初回のカラオケ大会では男性陣がフィンガーファイブの「恋するフォーチュンクッキー」などをアイドルさながらの衣装を着て歌いました。二回目は以前、

ら袋に詰めて真空に走るという単純な作業です。しかし、半身と言えども、袋に入れるとなると話は別。年末の寒さの中でも、もちろん暖房などつける訳にもいかず、腕や肩、腰は悲鳴を上げるというあり様です。やつとびりが終わつたと思えば鯛・カンパチ・ヒラメと続き、朝から晩まで魚さかなサカナ：また魚。

これが年末一週間毎日のスケジュール。お魚たちの数は一万尾を超えて、パック数にしたら：ああ～考えたくない。あの魚たちを目の前にしたら、「なんで日本人は、正月にこんなに魚を食べんといけんの？？」と、毎年思う私です。だけど、家の魚は日本一美味しい！これは間違いない。

一年間の締めくくり、長靴姿のすごい格好の私は、やっぱりいつものように気合を入れ、魚屋さんに参戦し、無事に年を越す事ができました!!

スタッフから

訓練課

昨年を踏まえての今年の目標

言語聴覚士 飯塚 大輔

昨年一年間を振り返ると自分が大きく変化した年でした。まず国家資格を取得し、一人の臨床家として誰かのために評価や訓練ができるようになつたこと、それと同時に責任を背負つてること、また学生から社会人になったことです。

言語聴覚士として恵の聖母の家に就職させていただけて、約一年が過ぎました。私が恵の聖母の家を選んだ理由は、一・専門学校の先生方からの勧め二・発達分野に興味を持っていたからでした。就職してすぐに新型コロナウイルスの影響を受け、入所部門の担当になりました。入所部門を担当させていた大切なことがあります。言葉を発することができない分、表情や身振り、体調などで読み取ることができません。入所利用者さん一人ひとりのコミュニケーションの特徴を把握するところから始まり、私なりに理解をしていくまでも苦労しました。もちろんのことですが、私たちが当たり前にできている動作と違います。また、食べる機能の評価についても苦労しました。もちろんのことであります。専門学校で習った知識では到底足りず、評価の前段階の知識からのやり直しでした。しかし、先輩と一緒に評価をさせていただき、勉強することができます。

とても苦労しました。もちろんのことであります。専門学校で習った知識では到底足りず、評価の前段階の知識からのやり直しでした。しかし、先輩と一緒に評価をさせていただき、勉強することができます。

でやー」と

児童発達支援管理責任者 竹尾 昭彦



◆八月十九日（水）「水遊び・夏遊び」涼を楽しむことを目的にホール内に一

ヨーヨー釣り、二・金魚すくい、三・ぶよ

ぶよボールのブースを設け水遊びを行いました。支援者とともに真剣な眼差しで狙い

を定めた金魚をくつたり、上手にヨーヨー

を釣つたりと、いろいろでしたが夏の思い

出となり充実した一日を過ごすことができました。

◆家族の日～ファミリーウィーク
九月十四日（月）カラオケ大会
十九日（木）聖劇
十八日（金）フラダンス

六月のふれあい運動会に続き、九月の家族の日～ファミリーウェスティバル～も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そこで、センターめぐみでは九月の第三週を家族の日～ファミリー ウィークと題し、三回に分けて催し物を企画しました。

◆家族の日～ファミリーウィーク
九月十四日（月）カラオケ大会
十九日（木）聖劇
十八日（金）フラダンス

六月のふれあい運動会に続き、九月の家族の日～ファミリーウェスティバル～も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。そこで、センターめぐみでは九月の第三週を家族の日～ファミリー ウィークと題し、三



▼身近な方々からのメッセージです。今年度の目標は「きずな」です。

保護者の皆様から



ご両親・家族からのメッセージ

零のために、皆さんお祝いしてくれてありがとうございます。

これから先の成長も、しんけん楽しみになりました。
これからも、皆さん、どうぞよろしくお願ひ致します。



河野 零さん 七五三おめでとうございます。



- ・零さん、七五三おめでとう！もっともっと大きくなつてね！
- ・一年間の成長は、ビックリするものでした。これからの成長も楽しみやね。
- ・これからも元気いっぱいの零さんでいて下さい。

ことができました。
担任の衛藤先生、亀井先生も充実した式になったと感動していました。

卒業式もリモートでの同時中継では、臨場感あふれる式になり、濱野さんもご両親も喜ばれていました。

ZOOMなどICTを用いた新しい形態の授業の準備・実施に際し、恵の聖母の家の職員さんには大変お世話になりました。おかげさまで児童生徒の真剣な活動とたくさんの笑顔を見ることができました。ありがとうございました。

教育現場でICTの必要性とされるようになって久しいのですが、ZOOM等の利用等が進み、コロナ禍がICTの普及に一役買つたようにも思われました。

しかし、いくらリモートが進んでも、教育の基本は肌のぬくもりを確認したり、お互いの息遣いを感じたりする対面式の授業であると思いますので、早くコロナ禍が去ってほしいと思います。

臼杵支援学校の職員全員が望んでいます。

恵の聖母の家の職員の皆様には今後とも、児童生徒の教育への変わらぬご支援・ご協力をお願いします。

支援学校訪問教室



わざわい 禍 転じて福となす

大分県立臼杵支援学校 前校長 甲斐 順治

令和2年度は、コロナ禍のため修学旅行が中止となり、体育館と小中学部棟の大規模改修のため、体育館が使えず、年2度の教室移動の引っ越しや工事車両と隣り合わせの教育環境となり、児童生徒や教職員にとっては異例の年でした。そして、年度途中に大分県のコロナ対策が第二ステージに高まるという事態にあって、訪問教育も大事をとってリモートの授業が増えました。加木さんの授業で濱野さんとZOOMでつなぎ『風になりたい』の合奏を取り組み、保育士さんのお手伝いを受けながら始業式を想定した授業を行いました。初めは眠ったままの状態でしたが、少しずつ覚醒のレベルが上がり、肘をテーブルに固定する支援を行うと、腕や手を動かしツリーチャイムを鳴らすことができました。当日は濱野さんの太鼓と満面の笑顔もあって、素晴らしい1学期を締めくく



ご寄附



人 事	
▼新規採用	
二〇二一年四月一日付	看護師 佐藤奈津子・工藤奈々
二〇二一年五月一日付	看護師 上野由美枝・佐藤仁美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 藤本有美
二〇二一年三月三十一日付	看護師 佐藤圭右(前施設長)
二〇二一年九月三十日付	介護福祉士 首藤茉実
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤康一郎
二〇二一年十二月三十日付	看護師 赤嶺ひとみ
二〇二一年一月三十日付	看護師 児玉敬祐
二〇二一年二月三十日付	看護師 安藤優里
二〇二一年三月三十日付	看護師 姫野和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 森永吉田
二〇二一年五月三十日付	看護師 加藤茉美
二〇二一年六月三十日付	看護師 細川知佳
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤綾乃
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年一月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年二月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年三月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年四月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年五月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年六月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年七月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年八月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年九月三十日付	看護師 佐藤和美
二〇二一年十月三十日付	看護師 佐藤和美

行事予定

※青色…外出活動 ◎…ケースカンファレンス 面…個別面談
 権…権利擁護・虐待防止部会 感…感染対策部会 全…全体朝礼
 労…労働安全衛生委員会 リ…リスクマネジメント部会 入…入浴日

2021年6月			7月			8月			9月			10月			11月		
1 火 全誕生会	2 水	3 木 権	1 木 権	2 金 入	3 日	1 水	2 木	3 金 入	1 水	2 木	3 日	1 金 入	2 土	3 日	1 月	2 火 全誕生会	3 水
4 金 入	5 土	6 日	7 木	8 木 感	9 日	10 水 ふれあい交流会	11 木 権	12 火 全誕生会	13 金 入	14 水 家族の日	15 木 入	16 金 入	17 土	18 日	19 月 入	20 火 全誕生会	21 木 入
20 金 入	21 土	22 日	23 水 あゆみ棲夏の集い	24 木 感	25 日	26 水 あゆみ棲夏の集い	27 木 感	28 火 全誕生会	29 金 入	30 水 家族の日	31 木 入	30 水	31 土	31 日	31 月 入	31 火 入	31 水
31 月 入	31 火	31 土	31 水	31 木	31 日	31 水	31 木	31 火	31 土	31 水	31 日	31 月 入	31 土	31 日	31 月 入	31 火 入	31 水

※予定変更の場合があります。 ※関係者の同意のもと、写真を掲載しております。

各ご連絡 ご相談先	恵の聖母の家（代表）……0974-32-7770 相談支援事業所こころ……0974-32-7788 外来保育きっず……………0974-32-7778	児童発達支援センターめぐみ…0974-32-7784 保育所等訪問支援・児童発達支援・放課後等デイ・生活介護 地域連携室……………0974-32-7667
--------------	--	---

編集後記

2021年度、恵の聖母の家に中島施設長が就任されました。施設内も職員の異動もあり、新体制がスタートしています。さて、ルルドの丘は今年度より、年2回の発刊になります。行事予定や施設内の活動や行事の掲載も工夫していきますので、よろしくお願いします。（M・H）